

# 教 育 課 程 表

第 一 学 年 用	令和7年度		第1学年			教科の備考	
	教科	科目	標準 単位数	学年(年次)			計
			1	2	3		
国語	現代の国語	2		3		7	
	言語文化	2	2				
	文学国語	4			2		
地理 歴史	地理総合	2			2	4	
	歴史総合	2		2			
公民	公共	2	2			2	
数学	数学Ⅰ	3	3			8 11	
	数学Ⅱ	4		3			
	数学Ⅲ	3			3		
	数学A	2			2		
理科	物理基礎	2		3		7 10	
	物理	4			3		
	化学基礎	2	2				
	生物基礎	2			2		
保健 体育	体育	7~8	2	2	3	9	
	保健	2	1	1			
芸術	美術Ⅰ	2	&2			2	1学年:&2 ・どちらか1科目を選択
	書道Ⅰ	2	&2				
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	3			7	
	英語コミュニケーションⅡ	4		2	2		
家庭 情報	家庭基礎 情報Ⅰ	2 2	2			2	「工業情報数理」で代替
普通科目 小計			19	16	13 19	48 54	
工業							
専門科目 小計			10	13	16 10	39 33	
総合的な探究の時間		3~6	0	0	0	0	「課題研究」で代替
自立活動							
履修単位数			29	29	29	87	
特別活動	ホームルーム活動		1	1	1	3	
合 計			30	30	30	90	
卒業に必要な修得単位数			74単位				
備 考			3年生:!(6単位) ・普通科目(数学Ⅲと物 理)と専門科目の選択				

# 【言語文化】

言語文化はこんな科目です。

教科	国語	学科	全科・群	単位数	1年2単位
使用教科書	新編言語文化 (東京書籍)		副教材等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新編 言語文化 学習課題ノート (東京書籍)</li> <li>・改訂版漢字検定7～2級対応 書きたくなるアシスト常用漢字 (数研出版)</li> <li>・高校国語への入門－漢字・語句中心の基礎固め－ (浜島書店)</li> <li>・高校 国語の学習 1、2、3 (啓隆社)</li> </ul>	

こんな力を付けることを目標としています。

- ①文章の読解を通して、読む力・書く力・考える力・感性を育てます。
- ②主体的に学習に取り組む姿勢、自らの考えを表現する力を授業や作文などで身に付けます。
- ③年間を通じて小テストを実施し、常用漢字の習得に努めます。

## 学習の内容

学年	学習内容	学習のポイント
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・随筆</li> <li>・小説</li> <li>・古文(説話・随筆)</li> <li>・漢文 (格言・故事成語)</li> <li>・作文</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・随筆という表現形式の特徴を理解し、筆者のものの見方や感じ方などを読み取ります。</li> <li>・小説に親しみ、情景や人物の心情を読み味わい、人間の多面性に触れます。</li> <li>・古典特有の表現や言葉を学び、先人のものの見方や感じ方などを読み取ります。</li> <li>・漢文の基礎・基本を学び、現代にも通じるものの見方や考え方を学び取ります。</li> <li>・テーマについて調べ、まとめることで、言葉を用いて表現することができるようにします。</li> </ul>

こんなふうに評価をします。

評価は次の3つの観点から行います。	
知識・技能	言葉の働きを理解し、文や文章の中で適切に使う技能を身に付けている。古典特有の表現や、古典の言葉と現代の言葉のつながりについて理解している。
思考・判断・表現	自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、表現したいことを明確にするとともに、効果的に伝わるよう工夫する力を身に付けている。多角的に文章の内容を解釈する技能を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	国語や言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現したり理解したりするとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
<p>これらの観点を踏まえ、各授業や單元ごとの具体的な評価方法としては、次のものをもとに総合的に判断します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題、提出物</li> <li>・定期考査、課題考査</li> <li>・その他教科担任の実施した小テスト等</li> <li>・授業中の学習の様子(学習活動への取り組み状況、発言の内容など)</li> </ul>	

**担当者からのメッセージ** 「言語文化」では上代から近現代に受け継がれてきた我が国の言語文化への理解を深めることに主眼を置いています。現代文・古文・漢文の3分野の文章を読解・鑑賞するとともに、その背景にも目を向け、皆さんの感じ方・考え方・生き方がより豊かになるようにしたいと思います。また、「書くこと」の活動を通じて、基本的な語句や漢字、言葉を用いて表現する力を身に付けていきましょう。

# 【公共】

公共はこんな科目です。

教 科	公 民	学 科	全科・群	単位数	1年 2単位
使用教科書	高等学校 新公共 (第一学習社)		副教材	クローズアップ公共 2025 (第一学習社)	

こんな力を付けることを目標としています。

- ①政治・経済・社会・文化等の諸問題について学び、社会人として生活するための基本的知識を身に付けることを目標とします。
- ②新聞やテレビのニュース番組で報道される時事問題に対して、公正な判断ができるようになることを目標とします。
- ③社会に生きる一員としての自覚をもち、よりよい社会の実現に向けて協力していこうとする態度を身に付けることを目標とします。

## 学習の内容

学年	学習内容	学習のポイント
1 年	公共の扉	<ul style="list-style-type: none"><li>・社会に生きる私たちについて学びます。</li><li>・人間と社会のあり方について学びます。</li><li>・自由や平等、個人の尊重について学びます。</li></ul>
	自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち	<ul style="list-style-type: none"><li>・日本国憲法や法について学びます。</li><li>・契約と消費者の権利や責任について学びます。</li><li>・政治への参加、選挙、世論の形成について学びます。</li><li>・国際社会における日本の役割を学びます。</li><li>・日本の平和主義、安全保障について学びます。</li><li>・雇用と労働問題、職業について学びます。</li><li>・市場経済、金融、財政について学びます。</li><li>・経済のグローバル化について学びます。</li></ul>
	持続可能な社会づくりの主体となる私たち	<ul style="list-style-type: none"><li>・地球環境、資源、エネルギー、生命倫理、情報などの現代社会における諸課題を学びます。</li></ul>

こんなふうに評価します。

評価は次の3つの観点から行います。	
知識・技能	公共に関する諸問題について、基本的な事項を理解し、その知識を身に付けている。
思考・判断・表現	公共に関する諸問題の原因や解決方法について公正に判断し、発表することができる。
主体的に学習に取り組む態度	公共に関する諸問題に興味・関心をもち、意欲的に課題を追求しようとする姿勢がある。
これらの観点を踏まえ、各授業や單元ごとの具体的な評価方法としては、 ・課題学習 ・提出物 ・定期考査 ・授業中の学習過程の様子 ・学習活動への参加の姿勢など これらをもとに、総合的に判断します。	

## 担当者からのメッセージ

今、私達は激動の時代に生きています。世の中の急激な変化に柔軟に対応するためには、公共について正しく理解することが必要です。テレビや新聞で報道されているさまざまな問題に興味・関心をもち、その内容について公正な判断ができる力を身に付けてください。

私たち一人一人がこの社会を構成している一員なのです。その責任を自覚し、社会の問題に対してどのような姿勢で臨むべきか、自分自身で考えることができるようになってほしいと思います。

# 【数学 I】

数学 I はこんな科目です。

教科	数学	学科	全科・群	単位数	1年 3単位
使用教科書	新編 数学 I (数研出版)		副教材等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新課程 Study-Upノート 数学 I (数研出版)</li> <li>・新課程 パラレルノート 数学 I (数研出版)</li> <li>・新課程 [数学入門] スタートワーク (数研出版)</li> </ul>	

こんな力を付けることを目標としています。

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を評価の観点のとおり育成することを目標とします。

## 学習の内容

学年	学習内容	学習のポイント
1年	数と式 2次関数 図形と計量 データの分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・式の計算（展開や因数分解）、1次方程式や連立方程式などの中学校で学習した内容について理解を深めます。</li> <li>・数を実数まで拡張する意義、集合と命題に関する基本的な概念、不等式の解の意味や性質を理解できるようにします。</li> <li>・式を多面的にとらえ目的に応じて変形したり、集合や不等式を論理的に考察したり、問題解決に活用したりします。</li> <li>・2次関数とそのグラフ、2次関数の最大値と最小値、2次関数と2次方程式の関係について理解できるようにします。</li> <li>・2つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象を数学的にとらえて考察したり、問題を解決したりします。</li> <li>・鋭角の三角比の意味、三角比を鈍角に拡張する意義、三角比の相互関係、三角比の有用性について理解できるようにします。</li> <li>・図形の性質を三角比の定理や公式として表現します。</li> <li>・分散、標準偏差、散布図、相関係数の意味や使い方を理解できるようにします。</li> <li>・データの散らばりや傾向を表現する方法を考察します。</li> </ul>

こんなふうに評価をします。

評価は次の3つの観点から行います。	
知識・技能	基本的な概念や原理・法則などを体系的に理解している。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。
思考・判断・表現	数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりしている。事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察できる。図形の性質や計量について論理的に考察し表現している。データについて適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりしている。
主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し数学を活用しようとする。粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする。
<p>これらの観点を踏まえ、各授業や単元ごとの具体的な評価方法としては、次のものをもとに総合的に判断します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題、提出物</li> <li>・定期考査、課題考査</li> <li>・その他教科担任の実施した小テスト等</li> <li>・授業中の学習の様子（学習活動への取り組み状況、発言の内容など）</li> </ul>	

## 担当者からのメッセージ

数学 I を学習するときには、中学まで習ってきた数学の世界が、少しずつ開拓・改良され、新しい見方が増えていくことを実感してください。定義・公式・定理がどんな場面で、何のために使えるのか。そのことを意識すれば、数学の見方・考え方のよさを理解し、応用力が身に付いていきます。またそれによって、ものごとの本質を見抜き、様々な事柄について見通しをもって筋道を立てて考え、判断をする力を身に付けることに繋がっていきます。数学用語・記号を正しく理解し、計算力を磨き、工業科目内容に活用される数学に興味・関心をもち続けてください。

# 【化学基礎】

化学基礎はこんな科目です。

教科	理科	学科	全科・群	単位数	1年 2単位
使用教科書	新編化学基礎（東京書籍）		副教材等	ニューサポート 新編化学基礎 （東京書籍）	

こんな力を付けることを目標としています。

- ①化学の学習内容が日常生活や社会とかかわることを知り、身近な物質とその変化への関心を高めます。
- ②化学の学習は環境に配慮した上で、健康で安全な生活を送るために欠かせないものであることを理解します。
- ③主体的に観察、実験などに取り組むことによって科学の方法を学び、化学的に探究する能力と態度を身に付けます。
- ④化学の基本概念や原理・法則を具体的な物質の性質や反応と結び付けて理解し、活用する能力を身に付けます。
- ⑤物質に関する原理・法則の基礎を理解し、物質とその変化を微視的にとらえる見方や考え方を養います。

## 学習の内容

学年	学習内容	学習のポイント
1年	第1編 化学と人間生活 第2編 物質の構成 第3編 物質の変化	1 日常生活と化学とのかかわり、物質の状態、成分について学びます。 ・物質の成分元素や物質の三態変化などについて学びます。 2 物質の構造、化学結合と物質の性質に関する基本的な概念や原理、法則などを学びます。 ・原子の構造、元素の周期表、イオン・分子・金属などの化学結合について学びます。 3 物質と化学反応式、酸と塩基、酸化還元反応について学びます。 ・物質の量について正しく理解し、化学反応式の書き方について学びます。 ・酸と塩基の性質や、中和反応について学びます。 ・酸化還元反応について学び、さらに金属のイオン化傾向、電池や電気分解について学びます。

こんなふうに評価をします。

評価は次の3つの観点から行います。	
知識・技能	化学的な現象や事物について基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。また、実験においては、基本操作などを習得し、実験の過程や結果を的確に記録、整理し、科学的に探究している。
思考・判断・表現	化学的な現象や事物の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
主体的に学習に取り組む態度	化学的な自然現象や事物に関心や探究心を持ち、意欲的に探究しようとする姿勢をもっている。
各授業や単元ごとの具体的な評価方法としては、 ・課題等の提出物 ・定期考査 ・ノートの確認 ・授業中の学習の様子（学習活動への参加状況） などをもとに、上記の観点を踏まえ、総合的に評価します。	

## 担当者からのメッセージ

化学では、身の回りの物質は何からできているのか、また、そこにはどのような法則があるのかなど、身の回りの物質をいつもとは少し違う観点で見ることができます。また、物質が変化するとはどのようなことなのかということも学習します。将来、工業系の仕事に携わるとき扱う材料がどのようなもので、どんな性質を持っているのかということはとても重要になってくると思います。その基礎を高校生のうちに化学で身に付けましょう。

# 【体 育】

体育はこんな科目です。

教 科	保健体育	学 科	全科・群	単位数	1年2単位 2年2単位 3年3単位
使用教科書	現代高等保健体育 (大修館)		副教材等	現代高等保健体育ノート (大修館)	

こんな力を付けることを目標としています。

- ①運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするための技能を身に付けるようにします。
- ②運動の課題を発見し、解決に向けて思考・判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養います。
- ③運動を継続して親しむために、競争や協働の経験を通して、公正・協力・責任・参画・他者の違いを大切にすることの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養います。

## 学習の内容

学年	学習内容	学習のポイント
1年	体づくり運動 バレーボール 柔道 バスケットボール 陸上(長距離走) サッカー 体育理論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校の体育授業を理解し、集団行動の様式を身に付けます。</li> <li>・バレーボールの基本的な技能を身に付けます。</li> <li>・基本動作や基本的な技を用いて、安全な受け身と寝技を身に付けます。</li> <li>・バスケットボールの基本的な技能を身に付けます。</li> <li>・長距離走の基本的な知識を理解し、自己設定タイムで走りきります。</li> <li>・サッカーの基本的な技能を身に付けます。</li> <li>・スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展について理解します。</li> </ul>
2年	体づくり運動 柔道 バレーボール サッカー 陸上(長距離走) バスケットボール 体育理論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団行動の様式を確認し、身に付けます。</li> <li>・安全に配慮しながら技をかけられるようにします。</li> <li>・基本技能を用い、ゲームの中で三段攻撃ができるようにします。</li> <li>・縦横に広がりスペースを使ったゲームができるようにします。</li> <li>・目標タイムを設定し、走りきることができるようにします。</li> <li>・移動しながらパス・シュートができるようにします。</li> <li>・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解します。</li> </ul>
3年	体づくり運動 柔道・サッカー バレーボール・バスケットボール 卓球・ソフトボール 陸上(長距離走) 体育理論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体を動かす楽しさや、心地よさを味わい実生活に役立てます。</li> <li>・1、2年生で学んだ技を生かし、試合ができるようにします。</li> <li>・チームの構成メンバーを生かしたゲームができるようにします。</li> <li>・状況に応じた攻防ができるようにします。</li> <li>・目標タイムを設定し、走りきることができるようにします。</li> <li>・豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解します。</li> </ul>

こんなふうに評価をします。

評価は次の3つの観点から行います。	
知識・技能	運動の多様性や体力の必要性について理解し、それらの技能が身に付いている。
思考・判断・表現	運動の課題を発見し、解決に向けて工夫するとともに、自己や仲間の考えを他者に伝えている。
主体的に学習に取り組む態度	運動の活動を通して、公正・協力・責任・参画などの態度があり、一人一人の違いを大切しながら健康・安全を確保しようとしている。
これらの観点を踏まえ、各授業や単元ごとの評価方法としては、授業中の学習の様子、グループノートの提出、パフォーマンステスト、記録会や試合の結果、ゲーム中の参加状況をもとに、総合的に判断します。	

## 担当者からのメッセージ

「全ての生徒が体育の授業が待ち遠しくて仕方がない」くらい楽しみな時間にしたいものです。そのためには、ただ体を動かすだけでなく仲間と課題を見つけ出し、科学的な理解のもとに運動するとともに他者を尊重しながら活動する習慣を身に付けることが大切です。前向きに取り組んでくれることを期待しています。

# 【保 健】

保健はこんな科目です。

教 科	保健体育	学 科	全科・群	単位数	1年 1単位 2年 1単位
使用教科書	現代高等保健体育 (大修館)		副教材等	現代高等保健体育ノート (大修館)	

こんな力を付けることを目標としています。

- ①個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めその技能を身に付けるようにします。
- ②健康について自他や社会の課題を発見し、解決に向けて思考し判断するとともに目的や状況に応じて他者に伝える力を養います。
- ③生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養います。

## 学習の内容

学年	学習内容	学習のポイント
1年	現代社会と健康 ・健康の考え方 ・生活習慣病 ・薬物乱用 ・精神疾患 ・感染症 安全な社会生活 ・事故・災害・交通安全 ・応急手当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国民の健康課題や健康の考え方について理解します。</li> <li>・運動、食事、休養、睡眠の調和のとれた生活の必要性を理解します。</li> <li>・薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響があることを理解します。</li> <li>・心身の不調の気づきや疾病の早期発見と社会的対策を理解します。</li> <li>・感染症予防には個人の取り組みと社会的対策の必要性を理解します。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境整備とそれに応じた個人の取り組みの必要性を理解します。</li> <li>・傷害や疾病の軽減や応急手当の正しい手法と手順を理解します。</li> </ul>
2年	生涯を通じる健康 ・生涯の各段階における健康 ・労働と健康 健康を支える環境づくり ・環境と健康  ・環境と食品の保健 ・保健・医療サービスと医薬品制度 ・保健活動と環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各年齢段階に応じた健康課題や健康管理及び安全管理を理解します。</li> <li>・思春期における性に関する意識、性行動を正しく理解します。</li> <li>・労働災害や職業病などを踏まえ健康管理及び安全管理を理解します。</li> <li>・人間の生活や産業活動は自然環境を汚染し、健康に影響を及ぼすことがあることを理解します。</li> <li>・食品の安全性の基準について、健康とのかかわりを理解します。</li> <li>・保健・医療サービスの活用と医薬品の適切な使用について理解します。</li> <li>・保健活動及び社会的対策について理解します。</li> </ul>

こんなふうに評価をします。

評価は次の3つの観点から行います。	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人生活や社会生活における健康や安全について理解している。</li> <li>・自他の健康や安全に配慮しながら生活できる技能が身に付いている。</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自他の意見や考え方を伝えたり聞いたりして、課題を発見し課題解決にむけて努力している。</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康やそれを支える環境づくりに関心を持って学習に取り組もうとしている。</li> <li>・生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指す実践力を身に付けるために意欲的に取り組もうとしている。</li> </ul>
これらの観点を踏まえ、各授業や單元ごとの具体的な評価方法としては、授業中の学習の様子（発表や討論の様子、学習活動への参加状況）、提出物の記述内容、定期考査の結果、小テスト等への取り組みをもとに、総合的に判断します。	

## 担当者からのメッセージ

「保健」という科目は、「健康を保つ」ことを取り扱う授業で、毎週1時間行います。健康問題がテレビや新聞やSNS等で大きく扱われる現状の中で、正しい情報を取り入れ適切な行動を選択できるようにしなければなりません。また「保健」の授業では自分の家族の健康を保持増進させるため基本的な事項を学習しますので、理解することはもちろん、自分の日常生活の中に具体的な課題がたくさんあることが分かります。その課題を自分に即したものとして考え、よりよい解決を導き出して欲しいと思っています。病気になって初めて健康のありがたさに気づくのではなく、健康なうちから自分の健康に、注意を払って欲しいと思います。

# 【美術 I】

美術 I はこんな科目です。

教科	芸術	学科	全科・群	単位数	1年 2単位 (選択)
使用教科書	美術 1 (光村図書)		副教材等	参考作品 (生徒作品他)	

こんな力を付けることを目標としています。

- ①様々な創造活動に主体的に取り組むなかで、造形的な視点や思考を深め、自己表現につなげます。
- ②色・形・素材についての理解を深め、それらを工夫して効果的に表現に生かす技能を高めます。
- ③美術文化の学習や鑑賞を通じ、互いに違う価値観を認め合い感じる力や思いを表現する力を育成し、生涯にわたって美術に親しみ、心豊かな生活や社会を創造する力を身に付けます。

## 学習の内容

学年	学習内容	学習のポイント
1年	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 絵画と鑑賞</li><li>・ デザインと鑑賞</li><li>・ 彫刻と鑑賞</li><li>・ 映像メディア表現と鑑賞</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ デッサンやスケッチによる表現について親しみ、感じ取ったことや考えたことを描いてみます。</li><li>・ 絵画の技法を理解し、効果的で創造的な表現に生かします。</li><li>・ 構図や色彩などの学習を通じて、機能性を理解し作品に生かします。</li><li>・ 塑像の技法を理解し、素材の特色を生かした表現を学習します。</li><li>・ 身近にある作品を再認識するとともに新たな視点で鑑賞し、自己表現につなげます。</li></ul>

こんなふうに評価をします。

評価は次の3つの観点から行います。	
知識・技能	創造的な表現のために必要な知識や技能を身に付け、多様な表現方法を工夫している。
思考・判断・表現	感性や想像力を働かせて主題を生みだし、創造的な表現の構想を練っている。
主体的に学習に取り組む態度	美的創造活動や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞に取り組もうとしている。
これらの観点を踏まえ、各授業や単元ごとの具体的な評価方法としては、 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 完成作品の提出</li><li>・ 授業中の制作態度 (取り組みの様子、学習活動への積極性)</li><li>・ ワークシート、学習レポートの内容</li><li>・ 出欠状況</li><li>・ 提出状況</li></ul> これらをもとに、総合的に判断します。	

## 担当者からのメッセージ

美術やデザインは、個人の表現活動であると同時に、人と人、人と社会を結び付ける役割を担うものです。多くの問題を抱えた世の中において、美術とデザインには何ができるのかを、課題を通じて皆さんとともに考えていきます。

美しいものを創り出すことには手間と時間がかかりますが、ものづくりの大切さを学ぶ本校の特徴を踏まえた題材や制作過程を意識し、考えることと作ることを繰り返して授業を展開します。



# 【書道 I】

書道 I はこんな科目です。

教科	芸術	学科	全科・群	単位数	1年 2単位 (選択)
使用教科書	書 I (光村図書)		副教材等	参考作品 (生徒作品他)	

こんな力を付けることを目標としています。

- ① 書の伝統や表現の多様性について理解し、それらを踏まえたうえで効果的に自らの表現に生かす技能を身に付けます。
- ② 作品を構想し工夫したり、作品との対話を通して書の美を味わい捉えたりする中で、感性を高めます。
- ③ 書の幅広い活動を通して、生涯にわたって書に親しみ、心豊かな生活や社会を創造する力を身に付けます。

## 学習の内容

学年	学習内容	学習のポイント
1年	・表現 (臨書・創作) と鑑賞 ・漢字の書 ・仮名の書 ・漢字仮名交じりの書	・臨書を通して表現の基礎を学び、創作に生かしたり、鑑賞を通して書の美を味わい、分析したりします。 ・古典を通して、漢字の変遷や書体について理解するとともに、多様な用筆法を身につけ、自らの表現に生かしていきます。 ・我が国独自の文化である「仮名の書」について、古筆を通して、その美の要素や表現技法を身に付け、自らの表現に生かしていきます。 ・漢字と仮名の調和を図りながら、紙面構成を工夫し、自らの意図に基づいた表現ができる力を身に付けます。

こんなふうに評価をします。

評価は次の3つの観点から行います。	
知識・技能	書の表現の方法や形式、多様性について幅広く理解している。 書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。
思考・判断・表現	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。
これらの観点を踏まえ、各授業や単元ごとの具体的な評価方法としては、 ・作品の提出 ・ワークシート、鑑賞カードの内容 ・授業中の練習態度 (取り組みの様子、学習活動への積極性) ・出欠状況 ・提出状況 これらをもとに総合的に判断します。	

## 担当者からのメッセージ

書道の授業では、書写で学んだ「正しく整えて書くこと」だけでなく、さまざまな書の表現技法を学びます。そして、自ら選んだ言葉を素材として、学びとった技法をもとに自己表現することを目指します。また、様々な書作品との対話を通して、古より伝わる書のよさや美しさを感じ取ったり、互いの作品のよさや美しさを認め合ったりすることを大切にしていきます。

# 【英語コミュニケーションⅠ】

英語コミュニケーションⅠはこんな科目です。

教科	外国語	学科	全科・群	単位数	1年 3単位
使用教科書	Power On English Communication I (東京書籍)		副教材等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Power On WORKBOOK English Communication I (東京書籍)</li> <li>・高校英語へのステップ (東京書籍)</li> <li>・チャンクで英単語Basic第2版 ドリルノート①、② (三省堂)</li> <li>・チャンクで英単語Basic第2版 (三省堂)</li> </ul>	

こんな力を付けることを目標としています。

- ・将来に於いていつでも「学びなおし」ができる確かな基礎学力を身に付けます。
- ・日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、
  1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができます。
  2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができます。
  3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができます。
  4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができます。
  5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができます。

## 学習の内容

学年	学習内容	学習のポイント
1年	<b>Lesson 1</b> Japan's New Tourism	[題材内容] 外国からの観光客に人気の体験型ツーリズムを紹介する ALT の話。 [言語材料] 動詞の現在形・過去形、進行形、助動詞+動詞の原形
	<b>Lesson 2</b> Light from Creatures	[題材内容] 生き物が光る理由や、その光が医療研究に利用されていることに関すること。 [言語材料] 受け身、現在完了形、現在完了進行形
	<b>Lesson 3</b> Routes to the Top	[題材内容] スポーツクライマーである野口選手のインタビュー。 [言語材料] 動名詞、不定詞、S+V+O [that 節]
	<b>Lesson 4</b> Left to Right, Right?	[題材内容] 日本のマンガの形式やその翻訳に関する留学生による発表。 [言語材料] 後置修飾の現在分詞、後置修飾の過去分詞、比較級・最上級
	<b>Lesson 5</b> Banana Paper	[題材内容] バナナペーパーへの日本の伝統技術貢献に関する講義。 [言語材料] 関係代名詞 (主格)、関係代名詞 (目的格)、S+seem+to 不定詞
	<b>Lesson 6</b> Patterns in Human Behavior	[題材内容] 人間の興味深い行動パターンに関する実験の手順や結果を解説する雑誌記事。 [言語材料] It+be 動詞+形容詞+that 節、S+V [be 動詞以外+C] など
	<b>Lesson 7</b> No Plastic or No Future	[題材内容] プラスチックがもたらす環境破壊に関する論説文。 [言語材料] 関係副詞 where、関係副詞 when、関係代名詞 what
	<b>Lesson 8</b> Oh My Cod!	[題材内容] イギリス人 ALT によるフィッシュ・アンド・チップスの歴史と食料資源に関する発表。 [言語材料] 現在分詞の分詞構文、関係代名詞の非制限用法、過去完了形
	<b>Lesson 9</b> Is E-sports a Real Sport?	[題材内容] 世界中の若者の間で人気が出てきている e スポーツの実況中継。 [言語材料] S+V [知覚] +O+ [現在分詞, 原形不定詞] など

<b>Lesson 10</b> Being Different Is Beautiful	<b>[題材内容]</b> 写真家ヨシダナギさんに関する雑誌記事。 <b>[言語材料]</b> wish+仮定法過去の節、仮定法過去の as if 節、仮定法過去の if 節
--	--

このように評価をします。

評価は次の3つの観点から行います。	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元で学習した語彙、文法、発音、用法などについて理解している。</li> <li>・学んだ内容に関連したことについて、目的や課題に応じて自分の表現したいことを論理的にまとめている。</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聞き手に自分の考えをよく理解してもらえるように、日常的な話題や社会的な話題についての情報や考えを、聞いたり読んだりしたことを基に、理由とともに話して伝えている。</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の目的や課題に応じて、学んだことを活用しまとめたことを、的確な情報や自分の考えと併せて、相手に伝えようとしている。</li> </ul>
<p>これらの観点を踏まえ、各授業や単元ごとの具体的な評価方法としては、次のものをもとに総合的に判断します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題、提出物</li> <li>・定期考査、課題考査</li> <li>・その他教科担任の実施した小テスト等</li> <li>・授業中の学習の様子（学習活動への取り組み状況、発言の内容など）</li> </ul>	

### 担当者からのメッセージ

年度当初は、中学から高校へのブリッジ教材を併用し基礎基本をしっかりと学習します。苦手意識を持っている人も「学びなおし」のチャンスととらえて、しっかりと臨んでください。

# 【家庭基礎】

家庭基礎はこんな科目です。

教 科	家 庭	学 科	全科・群	単位数	1年2単位
使用教科書	高等学校 家庭基礎 持続可能な未来をつくる（第一学習社）		副教材	なし	

こんな力を付けることを目標としています。

- ①生活を時間的、空間的な視点からとらえ、家庭生活に関する基本的な知識や技術を習得して自身の生活で実践できる力を身に付けます。
- ②家族や家庭の役割や課題を人の一生の中でみつめ、生涯を見通して課題を解決できる力を養います。
- ③2022年4月から成人年齢が引き下げられ、契約や消費者保護の仕組みが変わりました。その変化に対応できる力を付けます。

## 学習の内容

学年	学習内容	学習のポイント
1年	自分らしい生き方と家族 高齢者とかかわる 社会とかかわる 食生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの自分を振り返りライフプランを考えます。</li> <li>・家族の変化や家族・家庭が抱える問題を考えます。</li> <li>・高齢者の特徴を理解してかかわり方を学びます。</li> <li>・栄養素と食品について理解し栄養バランスや食品の安全性について学びます。</li> </ul>
	<b>【被服管理実習】</b> 衣生活をつくる <b>【調理実習】</b> 経済的に自立する 消費行動を考える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修繕や洗濯、アイロンがけなど日常生活における被服管理の基本的な技術を習得します。</li> <li>・調理実習、実験から日常食に関する知識や技術を学び、自分や家族の日常食が調理できるようにします。</li> <li>・消費生活分野において、新成人（18歳）を狙った悪徳商法や消費トラブルに合わないためにどうしたらよいか、どのような対策があるかを学びます。</li> </ul>
	住生活をつくる  子どもとかかわる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人と住まいのかかわりを学び、快適な住まいづくりを考えます。</li> <li>・子どもの発達と親の役割を理解し、子どもがすこやかに育つ環境を考えます。</li> </ul>

こんなふうに評価をします。

評価は次の3つの観点から行います。	
知識・技能	家庭生活の意義や役割を理解し、家庭や地域の生活を充実向上するために必要な基礎的な知識や技術を身に付けている。
思考・判断・表現	家庭や地域の生活について課題を見だし、その解決を目指して思考を深め、生涯を通して課題を解決する力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	現在を起点に将来を見通したり、自己や家族を起点に地域や社会へ視野を広げたりして、自身の生活のさらなる充実を目指そうとしている。
これらの観点を踏まえ、各授業や単元ごとの具体的な評価方法としては、次のものをもとに総合的に判断します。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題、提出物</li> <li>・定期考査</li> <li>・授業中の学習の様子（学習活動への取り組み状況、発言の内容など）</li> </ul>	

## 担当者からのメッセージ

体験学習等を通して、家庭や社会で起きている様々な課題について関心を高めます。さらに実験実習を通して生活に必要な知識・技術を取得し自分の生活に生かしていきます。自らの努力と工夫が、豊かな家庭生活につながっていくことを体験的に学習しましょう。